

本県の感染者数（11月～）

資料 1

(参考) 月別感染者数		
月	感染者数 (人)	備考
3月	3	
4月	14	
5月	0	
6月	0	
7月	140	
8月	202	
9月	6	
10月	2	
11月	145	
12月	270	
1月	316	1/6 時点

感染拡大緊急警報を発令

都城・北諸県圏域を感染急増圏域に変更

都城市を感染警戒区域に指定

12月を
感染拡大防止強化月間に設定

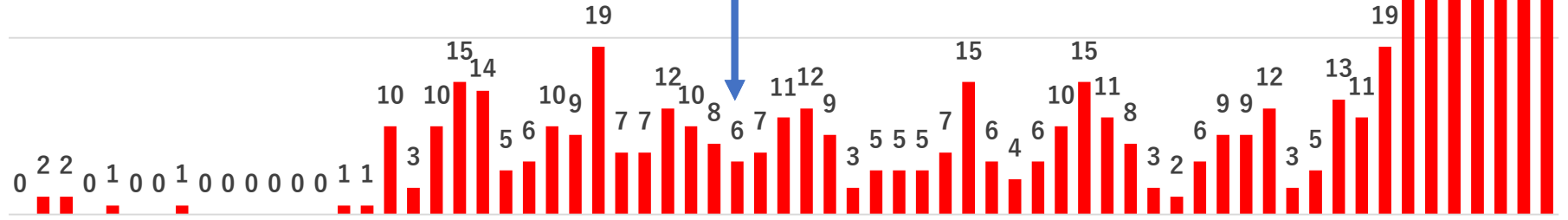
宮崎市を感染警戒区域に指定

100
80
60
40
20
0

11月1日 11月2日 11月3日 11月4日 11月5日 11月6日 11月7日 11月8日 11月9日 11月10日 11月11日 11月12日 11月13日 11月14日 11月15日 11月16日 11月17日 11月18日 11月19日 11月20日 11月21日 11月22日 11月23日 11月24日 11月25日 11月26日 11月27日 11月28日 11月29日 11月30日 12月1日 12月2日 12月3日 12月4日 12月5日 12月6日 12月7日 12月8日 12月9日 12月10日 12月11日 12月12日 12月13日 12月14日 12月15日 12月16日 12月17日 12月18日 12月19日 12月20日 12月21日 12月22日 12月23日 12月24日 12月25日 12月26日 12月27日 12月28日 12月29日 12月30日 12月31日 1月1日 1月2日 1月3日 1月4日 1月5日 1月6日

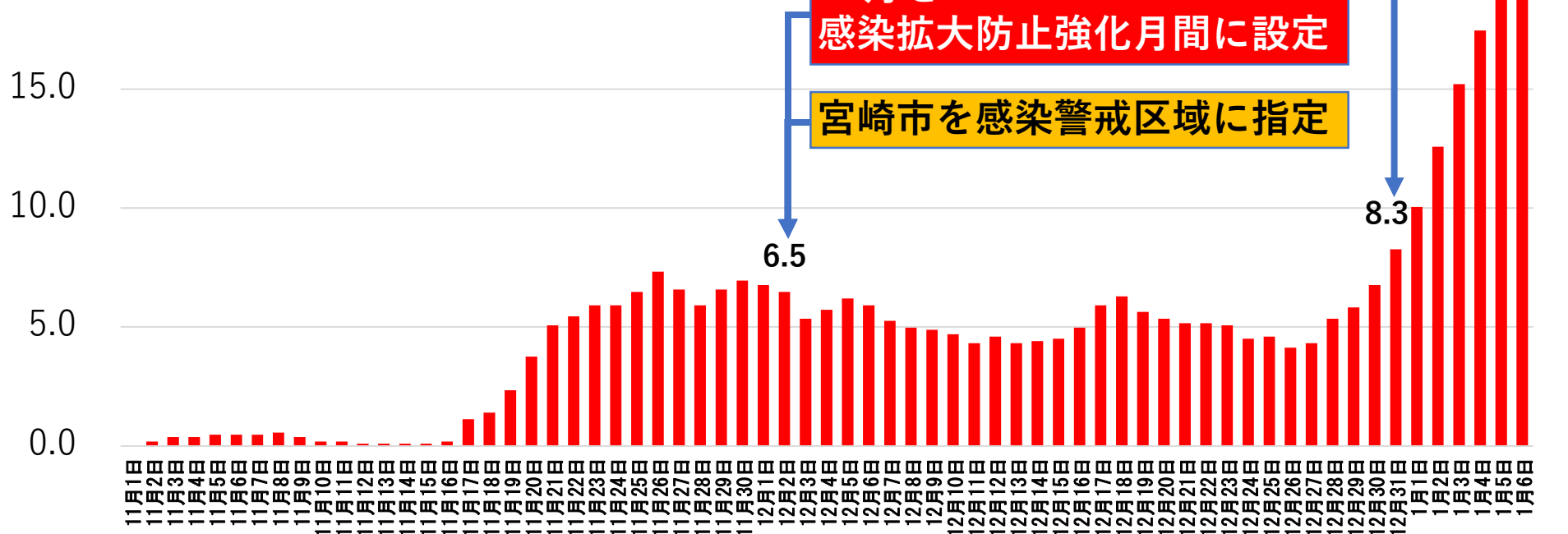
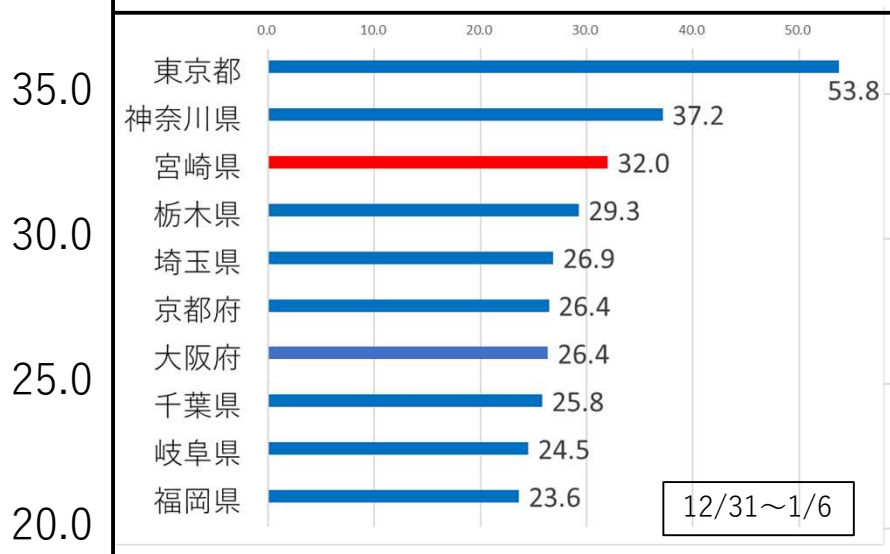
105
80

37
33
30
31
25
19



本県の直近1週間の人口10万人あたりの感染者数

(参考) 全国の直近1週間の人口10万人あたりの感染者数



感染拡大緊急警報を発令

都城・北諸県圏域を
感染急増圏域に変更

都城市を感染警戒区域に指定

12月を
感染拡大防止強化月間に設定

宮崎市を感染警戒区域に指定

令和3年1月7日短評(12/24~1/6)

1 感染者数、感染経路等

感染者は、急増して過去最高となっており、面的にも県内2圏域でステージ4、4圏域でステージ3の状況にある。県内全域で爆発的に感染が拡大している。また、感染経路不明な例も続発している。

2 感染等の特徴

県外との往来に端を発した感染が、会食、職場、家族・親族等を通して拡大している。特に、宮崎市や都城市では、高齢者施設、延岡市では運動施設でクラスターが発生している。

3 感染者の状況等

無症状者・軽症者が多く、重症者は少ないが、重症化リスクの高い高齢者が増加している。また、基礎疾患のある高齢者の死亡が続いている。

4 医療提供体制等

療養者数・入院者数が急増しており、深刻な医療提供体制の機能不全に直面する恐れ

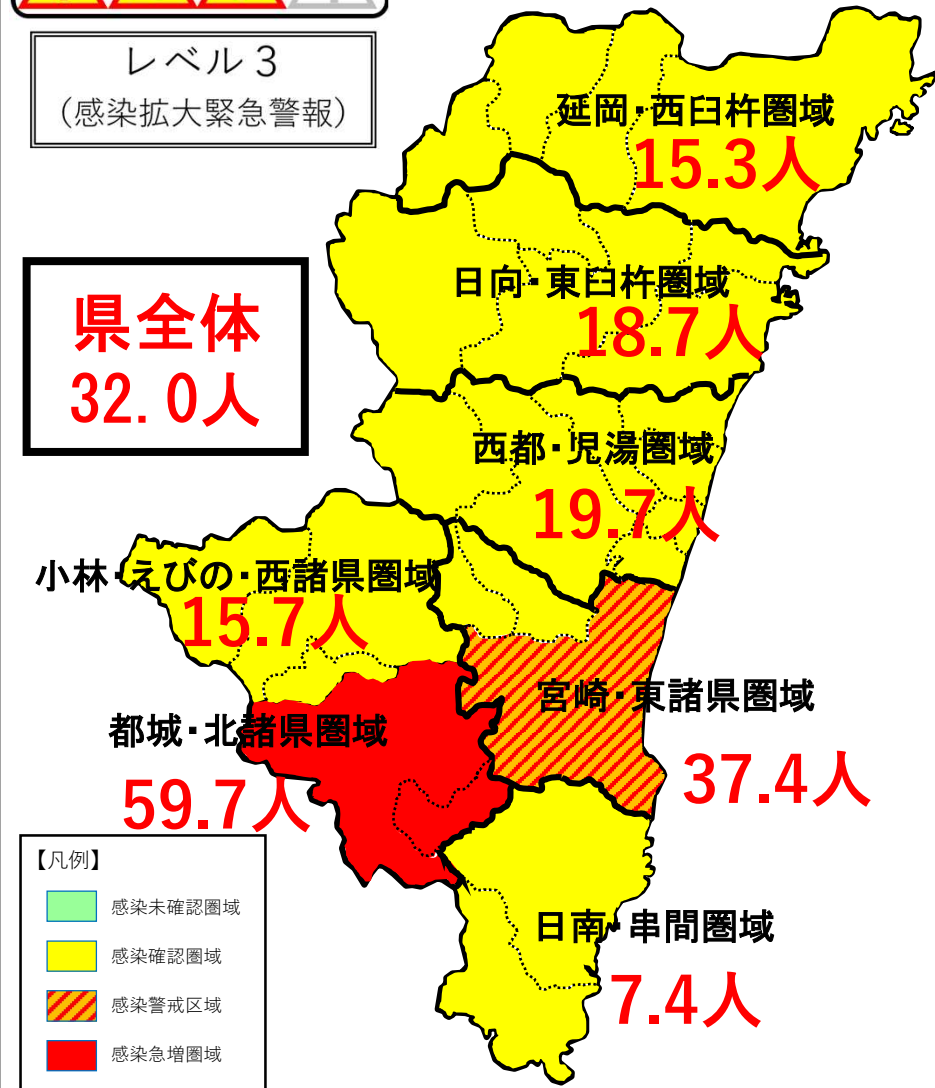
※下線部は、先週から評価が変更した箇所

直近1週間の人口10万人当たり感染者数



レベル3
(感染拡大緊急警報)

県全体
32.0人



【凡例】
 感染未確認圏域
 感染確認圏域
 感染警戒区域
 感染急増圏域

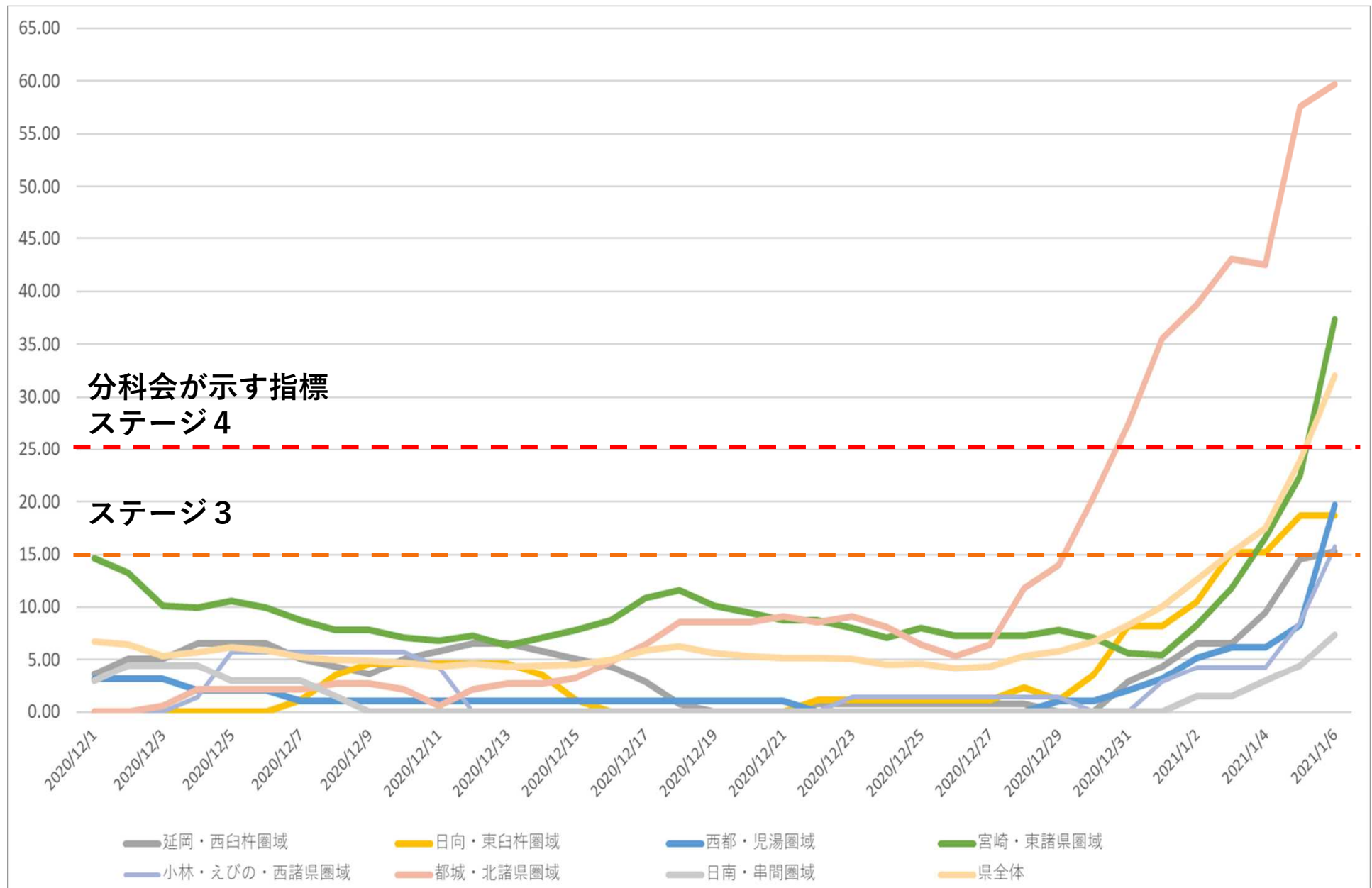
令和3年1月6日時点（1098例目まで）

国（分科会）が示す6指標の圏域毎の状況（1／6時点）

指標		宮崎・東諸県	延岡・西臼杵	日向・東臼杵	西都・児湯	都城・北諸県	小林・西諸	日南・串間	ステージ3	ステージ4	本県全体	第2波最大値 県全体 【 】時期	
医療の 負荷	①病床のひっ迫具合	病床占有率 ※ 参考値	30.1% (31/103)	12.5% (5/40)	22.2% (4/18)	0.0% (0/13)	54.3% (25/46)	25.0% (4/16)	10.0% (1/10)	25%	50%	28.5% (70/246)	42% 【8/8】
		うち重症者用病床	-	-	-	-	-	-	-	25%	50%	6.1% (2/33)	9.1% 【8/4-8】
	②療養者数（人口10万あたり全療養者数）	41.1人 (174/422,998)	15.3人 (21/137,242)	21.0人 (18/85,764)	20.7人 (20/96,620)	71.6人 (133/185,811)	15.7人 (11/69,882)	7.4人 (5/67,401)	15人	25人	36.0人 (384/1,065,283)	14.6人 【8/2】	
監視 体制	③PCR等陽性率	-	-	-	-	-	-	10%	10%	4.6%	16.9% 【8/18】		
感染の 状況	④新規報告数（直近1週間の人口10万人あたりの感染者数）	37.4人 (158/422,998)	15.3人 (21/137,242)	18.7人 (16/85,764)	19.7人 (19/96,620)	59.7人 (111/185,811)	15.7人 (11/69,882)	7.4人 (5/67,401)	15人	25人	32.0人 (341/1,065,283)	12.02人 【8/2】	
	⑤直近1週間の感染者数と先週1週間の感染者数の比較	直近(158人) >先週(30人)	直近(21人) >先週(0人)	直近(16人) >先週(3人)	直近(19人) >先週(1人)	直近(111人) >先週(38人)	直近(11人) >先週(0人)	直近(5人) >先週(0人)	直近>先週	直近>先週	直近(341人) >先週(72人)	直近>先週	
	⑥感染経路不明割合	-	-	-	-	-	-	-	50%	50%	11.2%	11.5% 【7/22-8/9】	

※参考値：入院調整は必要に応じて広域で対応するため、参考の扱い。

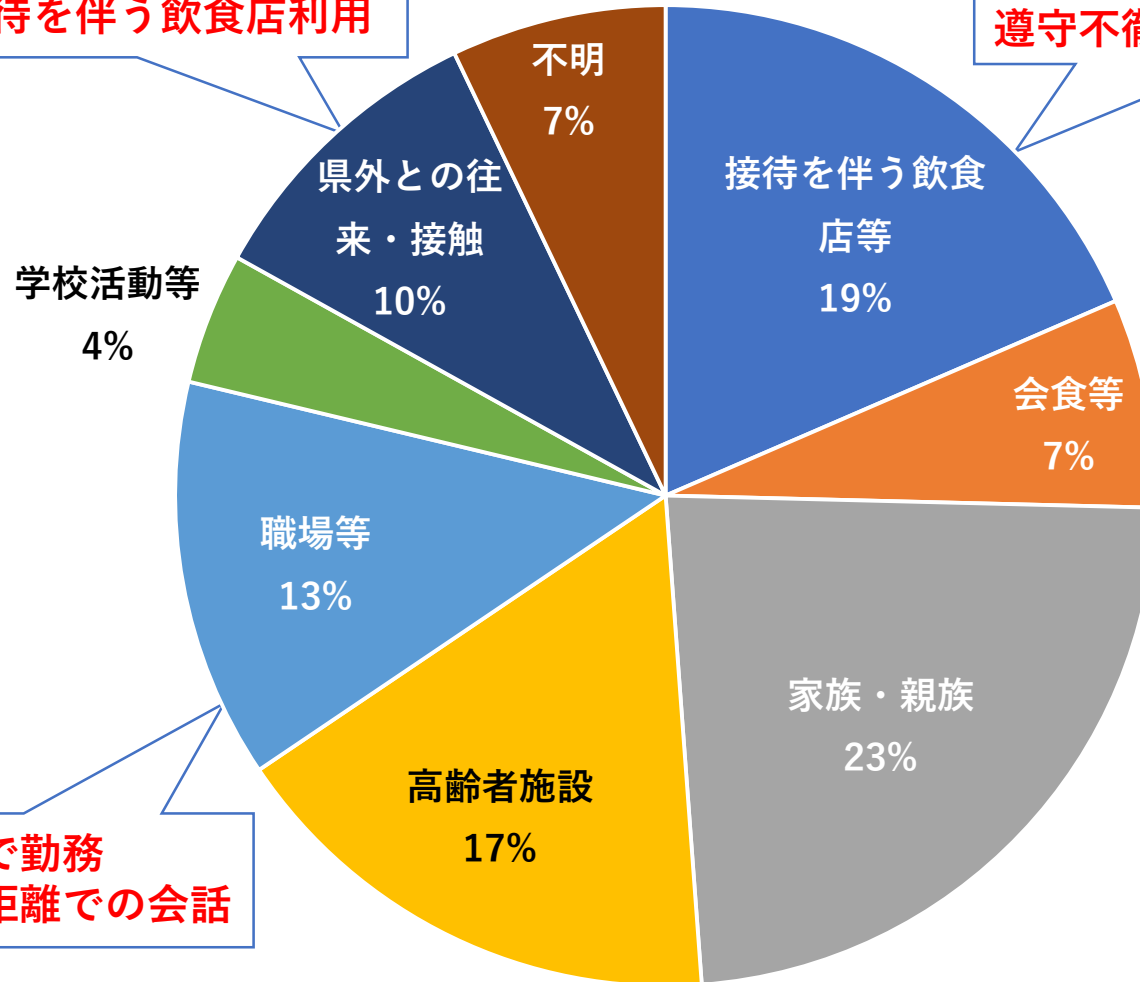
全圏域の感染状況（直近1週間の人口10万人あたりの感染者数）



本県において推定される感染機会の分析

- 県外の感染者と接触
- 県外の居酒屋での会食
- 県外の接待を伴う飲食店利用

- 県外の感染者が利用
- マスクなしで利用
- 一部店舗でガイドラインの遵守不徹底



- マスクなしで勤務
- 喫煙所で近距離での会話

分類	人数
接待を伴う飲食店等	94
会食等	35
家族・親族	119
高齢者施設	85
職場等	67
学校活動等	22
県外との往来・接触	49
不明	37
合計	508

368~875例目 (11/1~1/3)

本県の感染概況

1. 感染の拡がり（第3波）

12/2に宮崎市を、12/31に都城市を
感染警戒区域に指定

	11/2 -11/8	11/9 -11/15	11/16 -11/22	11/23 -11/29	11/30 -12/6	12/7 -12/13	12/14 -12/20	12/21 -12/27	12/28 -1/3
県外との往来・接触	4	1	2	5	8	1	6	8	14
職場等	1	0	13	9	10	15	4	3	12
接待を伴う飲食店等	0	0	35	8	7	9	12	7	16
会食等	0	0	2	7	2	1	10	1	12
家族・親族	0	0	5	12	14	12	14	12	50
学校活動等	0	0	0	0	0	0	0	0	22
高齢者施設	0	0	0	24	17	3	5	12	24
不明	1	0	1	5	5	5	6	3	11
合計	6	1	58	70	63	46	57	46	161

2. 感染者の状況

○県外との往来・接触到に端を発し、職場等や接待を伴う飲食店等・会食等、家族・親族を通して感染が拡大。

○接待を伴う飲食店等・会食等では、20代～40代を中心に感染が集中。

○さらに、家族・親族や高齢者施設を通じて、高齢者の感染につながっている。

○現在、県外との往来・接触到に端を発した1次感染から、3次・4次感染以上になっている

○年末年始の感染急拡大の内訳は、都城市の高齢者施設と延岡市の運動施設でのクラスター（その家族・関係者含む）

○今後、懸念される感染拡大の芽は主に2つの系統であり、これらへの対策が必要

- ・都城市や宮崎市等での感染経路不明な例や陽性者の接触者が新たな芽になること
- ・帰省者等の陽性者の接触者が新たな芽になること

「うつらない」「うつさない」ための感染防止行動

一次感染例：県外からの往来者（感染者）との接触により感染

- ・ 県外旅行に行って県外の方と会食
- ・ 県外からの来県者・帰省者と会食（同窓会等）

⇨ 県外からの来県者と接する際は、お互いにマスク着用を。



二次感染例：会食等を通じて感染

- ・ お互いに手の届く距離で対面で向かい合って会食
- ・ マスクを外して会食

⇨ 会食は「みやざきモデル」の徹底を。



三次感染例：職場等を通じて感染

- ・ マスクなし近距離、対面で打合せ（運動中含む）
- ・ 体調不良の中で出勤（高齢者施設含む）
- ・ 高齢者施設での介護・生活の中で
- ・ 喫煙所でマスクを外して会話

⇨ 勤務中や休憩中もマスク着用。運動などマスクを外す場で細心の注意。



現在の感染状況

① 県全体が爆発的な感染拡大（ステージ4）しており、今後1～2週間は感染拡大が続く恐れがある。

→感染状況の見通し

- ・ 1/7公表分の新規感染者は105人。
直近1週間の新規感染者指標31.0（全国3位（仮））
- ・ よくて横ばい（80～100人が続く可能性あり）、悪ければさらに拡大する
- ・ 検査対象件数が大幅に増える見込みであるため、陽性者が輪をかけて増える可能性

② 年末年始の県外者との接触や感染状況が厳しい圏域との往来に端を発し、県下のほとんどの圏域で感染が拡大しつつある。

→圏域ごとの状況

都城北諸県圏域（59.7）、宮崎東諸県圏域（37.4）以外にも、4圏域が直近1週間の新規感染者（人口10万人あたり）で約15（ステージ3）以上
延岡・西臼杵15.3、日向・東臼杵18.7、西都・児湯19.7、
小林・えびの・西諸県15.7、日南・串間7.4

感染拡大の要因分析（推定）

- 12月下旬、これまで宮崎市、都城市を中心に一部の感染経路不明な例が、人の往来・接触が増えた中で3次、4次感染を広げている。
- 「慎重な判断を求めていた」とはいえ、年末年始の人の移動が一定程度あった中、県外者・帰省者【1次感染者】からその接触者【家族・友人（2次感染者）】に広がったのではないか。
- 一人の陽性者が感染させる人数が多い傾向（家庭内全員感染の例が増えているなど）にあるのではないか。